

これからも、ずっと。

令和6年12月1日
丸森町は合併70周年を迎えます。

小斎振興協議会 広報紙

K O S A I

2024
(令和6年)
7月

幸民館だより

第172号



5月28日、小斎にてコウノトリの飛来が確認されました。

角田市 南部昌秀様のご協力により、足につけられていた「足環」（個体を識別するためにつけられる）を調べてみると、平成31年（2019）4月19日に京都府京丹後市で生まれたオスのコウノトリであることがわかりました。

小斎には2日ほど滞在したようで、中原や北新の水田でエサを食べる姿や、電柱の上で休む姿を見ることができました。

小斎へのコウノトリの飛来は、令和2年8月に飛来した「きずな」（オス）以来2羽目です。

編集・発行 小斎振興協議会

〒981-2401 宮城県伊具郡丸森町小斎字山崎63-1

小斎まちづくりセンター内

電話0224（78）1111 FAX 0224（73）7007

高齢者給食サービス

5月30日(木)

小斎地区にお住まいの80代以上の一人暮らしされている方、または80代以上の方のみで構成されているご家庭を対象に、手作りのお弁当を届けながら、暮らしの困りごとなどがないか声かけが行われました。

この給食サービスは、民生委員児童委員協議会小斎支会、小斎ボランティアの会、小斎振興協議会の共催により実施されました。



▲ 力を合わせて美味しいお弁当づくり！



おたよりをいただきました。



先日、高齢者に弁当が配付されました。

きれいな花柄のパックに、味付け良くされたバランスのとれた料理に感謝しながら、おいしくいただきました。

小斎ボランティアの会、民生委員児童委員小斎支会のみなさん、本当にありがとうございました。

小斎にもコウノトリが飛来したとか。四つ葉のクローバーを見つけて二重の幸せを感じています。

小斎に嫁に来てよかったあー。 あれ、何十年前かな？ あっはっはー

小斎の老婆より

編 おたよりありがとうございます。次回の給食サービスは秋に実施予定です。
これから暑さが厳しくなりますが、どうぞお体に気をつけてお過ごしください！

陣場山 物見櫓清掃・遊歩道草刈作業

6月1日(土)



当日は小斎歴史伝承会会員及び有志のみなさん29名にご参加いただきました。

お忙しいところ、誠にありがとうございました。

小斎長寿会 教養講座・卓球バレー

6月17日(月)

前半の教養講座では、小斎振興協議会 窪田事務局長を講師に「小斎ってどんなところ？」をテーマに、小斎地区の歴史や文化について学習しました。

後半は「卓球バレー」の体験・練習が行われました。卓球バレーはイスに座ったまま気軽に楽しむことができるとあって、とても盛り上がりました。



● 5月下旬～6月の小斎地区

丸森町へ要望書を提出

町道 田谷場線の改良について

6月19日(水)

現在、町道田谷場線の麓集会所から農免道路までの区間において、路幅が狭いため車同士のすれ違いができず、緊急車両や歩行者の安全確保にも細心の注意を図らなければならない状況にあります。

このことから、地区住民の安全・安心を確保するため、小斎振興協議会・小斎地区行政区長会により、道路の改良について要望書を提出しました。



第53回 小斎歩こう会

6月21日(金)



今回は35名の方にご参加いただき、山形県置賜地域へ！

「長井市あやめ公園」や「高畠ワイナリー」、「亀岡文珠堂」などを見学しました。

あやめ公園では、「長井古種」と呼ばれる長井固有の品種をはじめ、見ごろを迎えたあやめや花菖蒲を見ながら園内を散策しました。

景色や会話を楽しみながら散歩するのは、心と体の健康づくりに良い影響を与えるそうです。

次回は秋に小斎地区内の史跡をめぐる予定です。みなさまぜひご参加ください！



● おしらせ

❗ ごみの出し方について

電池類のテープ貼りが 不要になりました。

テープを貼らずに回収容器に入れてください。

- 回収容器は、小斎まちづくりセンター集会室の裏側に設置しております。
- 容器には電池類のみ入れてください。他のごみは入れないでください。
(電池を入れてきた袋は、お持ち帰りください。)
- 車や工具等のバッテリーの処分は、販売店にご相談ください。



■ お問い合わせ：丸森町 町民税務課 町民生活班 (☎72-3012)

フラワーロード 水仙の球根 大募集！

いただいた球根は、地区内の道路沿いに植栽し、
美しい景観づくりに活用させていただきます。

色や種類は問いません！

ぜひお持ち寄りください！

小斎まちづくりセンター (☎78-1111)



毎月**11日**は

小斎地区防火の日です！

火の用心の小旗を掲げ、みんなで防火・防災意識を
高めましょう！



● おしらせ

小斎盆踊り大会にむけて

お囃子の練習が始まります！

盆踊りの笛・太鼓・唄をやってみたい！ という方は、
見学からでも構いませんのでお気軽にお越しください！

（笛を購入される方には、費用の一部を助成いたします。）

- ・ 練習日：7月4日（木）、11日（木）、18日（木）、26日（金） ※予定
- ・ 時 間：午後7時から
- ・ 場 所：小斎まちづくりセンター（☎78-1111）



● みんなのコーナー

【募集】歌詞に曲をつけて歌ってみませんか？

加藤春一さん（ペンネーム）が作った丸森町・小斎をテーマにした詩に、
曲をつけてくださる方を募集します！

小斎まちづくりセンターまでご連絡ください！（☎78-1111）



ぬくもりの町

一 そよ吹く風に 緑葉ゆれて

武将の名残り 初陣地

桜花の薫る 伊達の里

散りゆく花を 哀しむよに

さんさ時雨の 謡声こえがする

ここはぬくもり 母の町

二 次郎太郎の 輝く峰の

山ふところに 拓く町

木霊の響き 冴えわたり

今も昔も 変りはしない

人の心の 温かさ

なごみの広場 里の市

（※ 三番まであります。）



匿名希望さんの

読書感想録

Vol. 4

(ひとまず最終回！)

■『星を編む』を読んで

この物語は、2023年の本屋大賞を受賞した『汝、星のごとく』（作：風良ゆうさん）のスピノフ作品で、三部の構成です。

読んでみて、率直に面白かったです。誰が何と言おうと、前作に引き続き北原先生でしょう。何も求めず、いろんな人に愛を与えていたのですから。それも、ある期間に限定されず、ずーっとです。

先生のたたずまいが、文中の表現から飄々とした感じがして、すごくいい。

どんなに苦しい状況でも、淡々とスマートに、そして人としていつも懂れる存在なのであります。

物語の関係は、だいたい絡まっていた。現実社会の中でこんなネガティブな関係はあまりないと思います。

最後はどの関係もうまくいくような締めくくり方でした。現実的に全てがうまくいくことはあまりないと思いますが、私としては嬉しい結びです。

なぜなら、私はハッピーエンドが好物だからです。

【編】匿名希望さん、本の感想またお待ちしております！

鵲

漢字クイズ
読めるかな？

【ヒント】ツル（鶴）
ではありません！

（答えは11ページ。）

川柳

源春娘さんからお寄せいただきました。

ありがとうございます！

亡き母に腰曲がり様瓜二つ

星の父母此の身に宿る嬉しさよ

脳トレにシールパズルを娘がくれる

じっとしていても汗ばむ季節になりました。むし暑い日が多く、食欲や体力も
うばわれやすいです。こまめな水分補給と食事をしっかりとって過ごしましょう。

＊6月のできごと＊

6/4(火) ペタンク体験(北新地区)



6月のなの花会におじゃまして、
ニュースポーツのペタンクを体験
していただきました。みんなでル
ールを確認しながら、ボールのにぎり
方や投げ方を練習しました。

慣れたところで、2チームに分か
れて対戦しました。結果は3勝2敗
の僅差で赤チームの勝利でした。
接戦でしたね～!

6/8(土) 花植え(小斎まちサポ女性会)

ありがとう
ございました

小斎まちづくりサポート女性会の19名
のみなさんに、旧小斎小学校の北側花壇
とまちづくりセンターの駐車場花壇の除草・
花植えをしていただきました。

まちセンの花壇では、昨年植えたバー
ベナ、ジニアが今年も元気に咲いていま
す。旧小斎小ではマリーゴールド、コリウ
ス、サルビアなどが楽しめます。近くを通っ
たらぜひご覧くださいね。



お忙しい中ご参加いただきましたみなさん、
暑い中での作業本当にお疲れ様でした!

6/12(水) 講座と大抽選会(清水下地区)

6月のはつらつ会では、窪田 高広 事務局長が講師となり、ふる里小斎について学びました。

学習の後は、6月恒例のくじ引き&じゃんけん大抽選会が行われ、大盛況でした。

景品には自家製の新鮮なトマトやささぎ、ハチクなどの他日用品が当たりました。参加者のみなさんは、たくさんのお土産を手を持ち帰りました。



6/20(木)ごんぼっぱもち作り(中原地区)

【ごんぼっぱもち あん担当班】



6月のふくちゃんは、こちらも毎年恒例の“ごんぼっぱもち”作りでした。はじめに、毎月のカレンダーぬりえをした後に「うさぎとかめ」の替え歌と早口言葉をみんなで楽しみました。

いよいよもちが蒸し上がると、あんもち担当とときなこもち担当に分かれて作業開始！もちのちぎり方、あんの包み方など熟練の技も見られ、チームワークばっちりのおいしい“ごんぼっぱもち”ができあがりました。

【ごんぼっぱもち きなこ担当班】



ごんぼっぱ…「オヤマボクチ」「ヤマゴボウ」とよばれる山菜。もちに混ぜるとやわらかくてコシがある。

【完成！！】





写真・おたより・作品など

お気軽にお寄せください！

小斎の風景や行事、珍しい現象（天気）、季節の草花、ペットなど、みなさんがカメラや携帯電話で撮影した写真を募集しています。

また、小斎の思い出や日常のできごと、本などを読んで思ったことなどのおたより、俳句や短歌などの作品もお待ちしております！



【小斎まちづくりセンター】

メール：kosai-kou@town.marumori.miyagi.jp

電話：78-1111

スマホのカメラで右のQRコードを読み取り、「メール作成画面はこちら」をタッチしてください。
小斎まちセン宛てのメール作成画面が開きます！



小斎地区の人口・世帯数（令和6年6月1日現在）

	男 性	女 性	合 計	世 帯 数
山 口	77（-7）	57（-5）	134（-12）	53（-1）
中 原	45（-2）	45（+1）	90（-1）	33（-2）
迫	28（-1）	21（-1）	49（-2）	25（+1）
源 太 郎	63（-1）	60（±0）	123（-1）	44（+1）
麓	61（-3）	60（-1）	121（-4）	43（±0）
清 水 上	41（-1）	45（-1）	86（-2）	38（+1）
清 水 下	36（-1）	42（-1）	78（-2）	31（-1）
弓 目 木	19（-1）	24（+1）	43（±0）	19（±0）
北 新	48（-6）	47（-4）	95（-10）	34（-3）
合 計	418（-23）	401（-11）	819（-34）	320（-6）
丸森町合計	5,923（-178）	5,818（-161）	11,741（-339）	4,901（-46）

（※ カッコは前年同月比）

令和6年7月の行事予定&ごみ収集日

日	曜日	行事名
1	月	資源ごみ(びん類) いきいき小斎塾の調理事前研修
2	火	燃やせるごみ 行政区長定例会
3	水	燃やせないごみ
4	木	資源ごみ(容器プラ) 盆踊りお囃子練習
5	金	燃やせるごみ
6	土	
7	日	
8	月	資源ごみ(その他プラ) 民児協定例会
9	火	燃やせるごみ
10	水	資源ごみ(紙類・衣類) 小斎農援隊草刈り作業 第1回いきいき小斎塾(陶芸教室) まちづくり取り組み報告会
11	木	資源ごみ(容器プラ) 小斎地区 防火の日  盆踊りお囃子練習
12	金	燃やせるごみ
13	土	
14	日	

日	曜日	行事名
15	月	海の日 資源ごみ(缶類)
16	火	燃やせるごみ
17	水	小斎農援隊草刈り作業
18	木	盆踊りお囃子練習
19	金	燃やせるごみ
20	土	
21	日	小斎子ども会育成会 夏休みものづくり体験
22	月	資源ごみ(ペットボトル)
23	火	燃やせるごみ
24	水	資源ごみ(紙類・衣類)
25	木	小斎振興協議会 第4回 運営委員会 資源ごみ(容器プラ)
26	金	燃やせるごみ 小斎歴史伝承会 視察研修 盆踊りお囃子練習
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	燃やせるごみ
31	水	

※ 行事予定は変更になる場合があります。主催団体にご確認ください。

※ ごみは指定された日の朝8時30分までに集積所に出しましょう。



ごみの分け方・出し方

スマートフォン等からご覧いただけます。

カメラで右のQRコードを読み取ってください。

(丸森町役場のホームページに移動します。)



漢字クイズの答え
「コウノトリ」

丸森町健康まつり

フラバールバレーボールの部

小斎は第 **3** 位入賞！



6月23日(日)に町民体育館にて開催され、小斎チームは安定したプレイにより第3位と健闘しました。

選手のみなさん、お疲れさまでした！
(ソフトボールの部は雨天により中止。)

小斎の里に 蛍が舞う

今年も小斎の小川で蛍の飛ぶ姿が確認されました。

今年は例年よりも飛ぶ数が少なかったようですが、これからも蛍が飛び交う環境を守り続けていきたいものです。

※ 写真提供：南部 昌秀 様（角田市）



ある日の取材ノート



5月17日(金)、地区の方から「鳥の巣を見つけたんだけど、何の鳥だろう?」とのご連絡をいただき、さっそく向かいました。

巣は小川のほとりにあり、大きさ約5cmの卵が9個ありました。親鳥の姿はそのとき確認できませんでした。

調べた結果、巣や卵の特徴から「カモ」の可能性が高いことをご連絡いただいた方に報告しました。

しばらくして親鳥(カモ)が巣に戻って来たそうです。カモだと分かったことと、親鳥が無事だったことの両方でほっとしました。

それから数日後、卵はカラスによって奪われてしまったとのこと。普段のどかな小斎の風景ですが、目をこらすと様々な生き物たちが生存競争を日々繰り広げています。(小野)